

6 日本の人口

○大都市に集中する人口

日本の人口：大部分が平野や盆地に分布

→東京・大阪・名古屋を中心とする()や、地方の大都市などに集中

→これら都市には、高度経済成長期に多くの人々が農村などから移り住む

※()とは、中心都市が周辺の地域にさまざまな影響を及ぼす範囲のこと

＜地形別に見た日本の人口の割合＞

	山地	平野	
		低地	台地
地形の割合	75%	14%	11%
住人の割合	20%	50%	30%

人口が集中して()となった都市部

→住宅不足や交通渋滞、ごみ処理などの問題が深刻化、土地の価格が上昇

→郊外にニュータウンなどの住宅地の開発、都市の周辺部で人口増加

人口が流出して()となった農村や山間部・離島

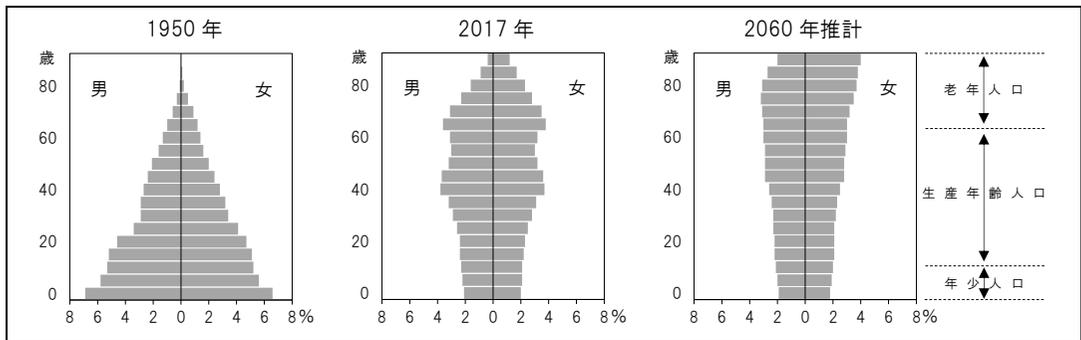
→学校や商店、病院、公共交通機関がなくなり、地域社会の維持が困難

→都市部から農村部へ移住する人口を増やし、地域を活性化させようという取り組みが進む

○急速に進む少子高齢化

日本の人口：明治時代以降に増加、現代では出生率が低下して減少傾向

＜日本の人口ピラミッドの変化＞



※年少人口(15歳未満)、生産年齢人口(15～64歳)、老年人口(65歳以上)

() (***)とは、子どもの数が少なく、高齢者の数が増える社会のこと

→労働力の不足や、年金などの社会保障の維持ができなくなる可能性

→若い世代の労働と子育て、高齢者の生活環境を整備、外国人労働者の受け入れなどの取り組み